

町の復興とにぎわいへの貢献に感謝

企業版ふるさと納税感謝状贈呈式

町は7月25日、本町に企業版ふるさと納税を行った株式会社パトライト(大阪市)に感謝状を贈りました。

これは、役場周辺のにぎわい拠点を整備する「復興まちづくり支援施設プロジェクト」に賛同いただいた同社へ、感謝の意を表すために行ったものです。

感謝状を受け取った吉坂悟志専務執行役員は、「この寄付を町の復興に役立ててほしい。また、今後も防災や安全対策などさまざまな面で町を応援していきたい」と述べました。



西村町長から感謝状を受け取った吉坂専務執行役員



㊤ 説明を聞きながらまち歩き ㊦ 地区の歴史について話す松野さん

歩いて、知って、交流深めて

木山蛭子町地区「歴史まち歩き」、交流会

8月5日、木山蛭子町地区「歴史まち歩き」と交流会が開催されました。

初めに公民館「きやま座」で、町文化財保護委員・松野陽子さんが、地区の歴史について説明。その後、集まった地区住民の皆さんはまち歩きに出発し、松野さんや学芸員の説明を聞きながら地区内の文化財の他、横町ましかど広場や避難広場など7カ所を巡りました。

「きやま座」に戻った後は炊き出し、輪投げ、ビンゴゲームなどが行われ、参加者たちは交流を深めました。

地域をひとつにつなぐ道路開通

町道櫛島東無田線・櫛島避難路開通式

櫛島地区で7月30日、町道櫛島東無田線・櫛島避難路開通式が行われました。

式には地域住民、地元町議会議員、関係者など約70人が参加。参加者全員でのテープカットの後、開通した道路の渡り初めを実施。地域住民・まちづくり協議会の提案を受け整備された、広く利用しやすい、災害にも強い道路の完成を祝いました。

櫛島区長の森田悦雄さんは「震災後、ばらばらになった地域をまたひとつにするための礎となる道路ができた。これからさらに、明るい・住みたい・住みやすい櫛島を目指していきたい」と語りました。

写真説明/1 道路の開通を盛大に祝う皆さん 2 渡り初めの先頭を切る元気いっぱいの90歳代の女性たち 3 新しくなった道路を歩く住民には笑顔があふれていました

